

RESAS

を分析してみよう

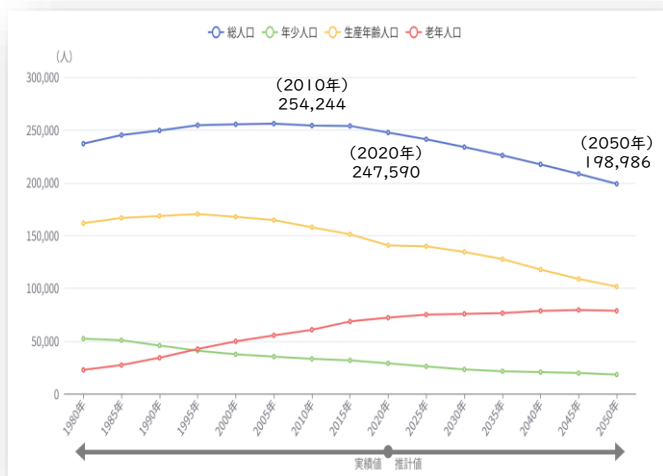
山形県
山形市

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

人口

<https://resas.go.jp>

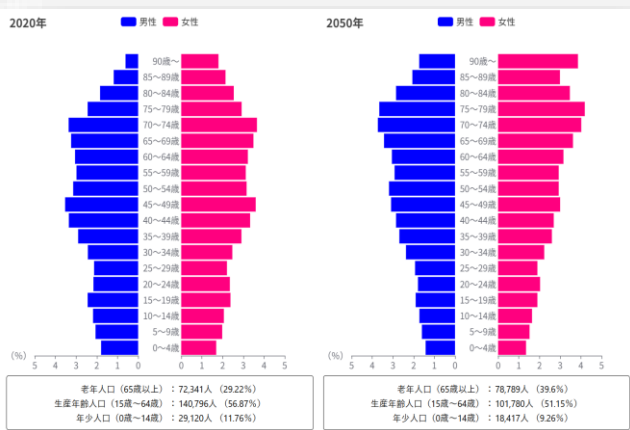
RESAS



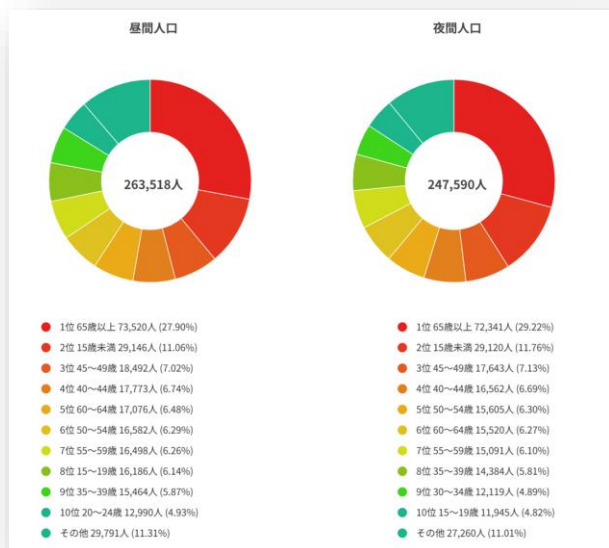
*人口マップ→人口構成分析→人口推移

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の29.22%から2050年には39.60%まで増加する。また、生産年齢人口は2020年の56.87%から51.15%まで減少する見込みである。



*人口マップ→人口構成分析→人口ピラミッド



*人口マップ→通勤通学人口分析→属性別流動

滞在人口（2020年）

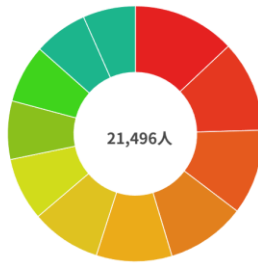
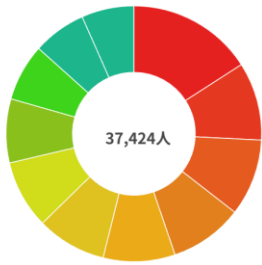
昼間人口と夜間人口を年齢階級別構成割合で示したグラフである。

山形市の昼間人口は263,518人、夜間人口は247,590人であり、昼夜間人口比率106.4%と、通勤・通学等での人口流入が多いことがわかる。また、昼夜ともに65歳以上の滞在人口がもっとも多い結果となっている。

人口

流入者数

流出者数



- 1位 15～19歳 5,954人 (15.91%)
- 2位 40～44歳 3,696人 (9.88%)
- 3位 45～49歳 3,641人 (9.73%)
- 4位 55～59歳 3,467人 (9.26%)
- 5位 20～24歳 3,406人 (9.10%)
- 6位 50～54歳 3,296人 (8.81%)
- 7位 35～39歳 3,235人 (8.64%)
- 8位 60～64歳 3,022人 (8.08%)
- 9位 30～34歳 2,702人 (7.22%)
- 10位 65歳以上 2,527人 (6.75%)
- その他 2,478人 (6.62%)

- 1位 45～49歳 2,792人 (12.99%)
- 2位 40～44歳 2,485人 (11.56%)
- 3位 50～54歳 2,319人 (10.79%)
- 4位 35～39歳 2,155人 (10.03%)
- 5位 55～59歳 2,060人 (9.58%)
- 6位 30～34歳 1,901人 (8.84%)
- 7位 15～19歳 1,713人 (7.97%)
- 8位 25～29歳 1,591人 (7.40%)
- 9位 20～24歳 1,586人 (7.38%)
- 10位 60～64歳 1,466人 (6.82%)
- その他 1,428人 (6.64%)

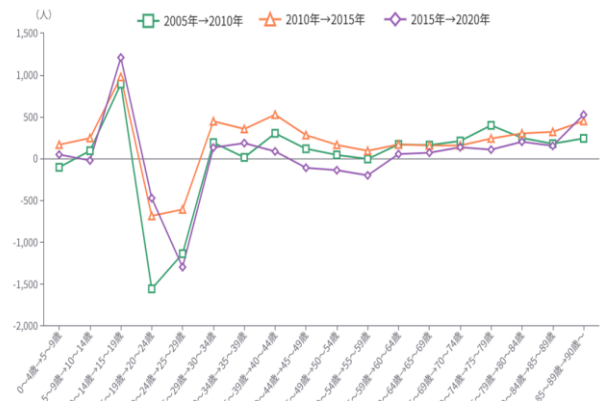
流入・流出者数 (2020年)

山形市内外への流入・流出者数を年齢階級別構成割合で示したグラフである。流入超過数が15,928人と市外からの流入者が多い地域であることがわかる。また、流入者数では、15～19歳がもっとも多く、流出者数では、45～49歳がもっとも多くなっている。

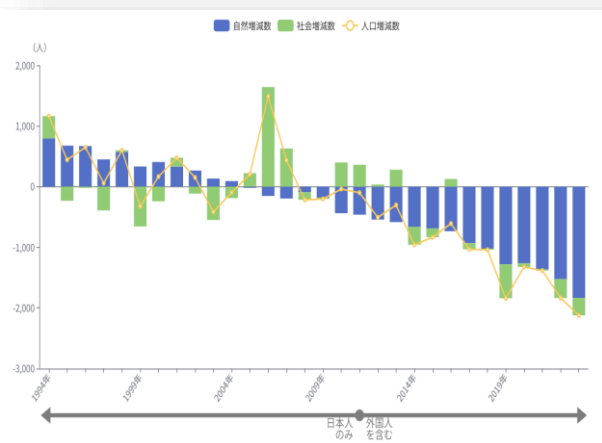
*人口マップ→通勤通学人口分析→属性別流動

年齢階級別純移動数時系列分析

年齢階級別純移動数の時系列推移は、主に大学進学時(15～19歳→20～24歳)に人口が流入し、また、就職時(20～24歳→25～29歳)に市外へ人口が流出する傾向にある。結婚や出産時(25～29歳→30～34歳)に人口が再度流入し、その後、年代ごとに増減の波はあるが、大きな流れとしては横ばいの傾向がみられる。



*人口マップ→社会増減分析→人口移動



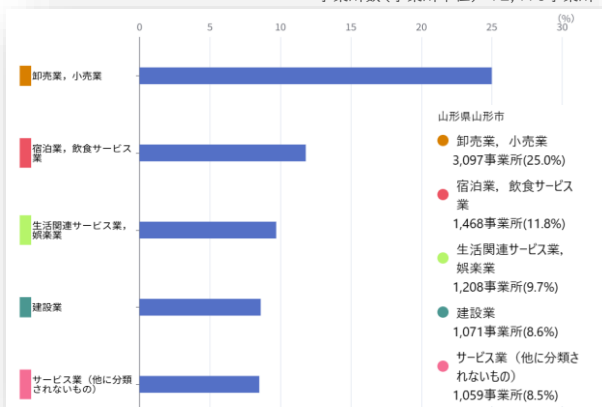
*人口マップ→人口増減分析→グラフ

自然増減・社会増減の推移

自然増減数(出生数から死亡数を引いた値)と社会増減数(転入者数から転出者数を差し引いた数値)の推移を示したグラフである。近年、社会減、自然減の傾向が続いており、全体の人口としては、減少している。

産業構造

事業所数(事業所単位): 12,410事業所



*産業構造マップ→産業構造分析→産業構成(事業所数)

事業所数(事業所単位) 大分類 (2021年)

業種ごとの事業所数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の3,097事業所で、全体の25.0%を占めている。その後「宿泊業、飲食サービス業」の1,468事業所11.8%が続く。

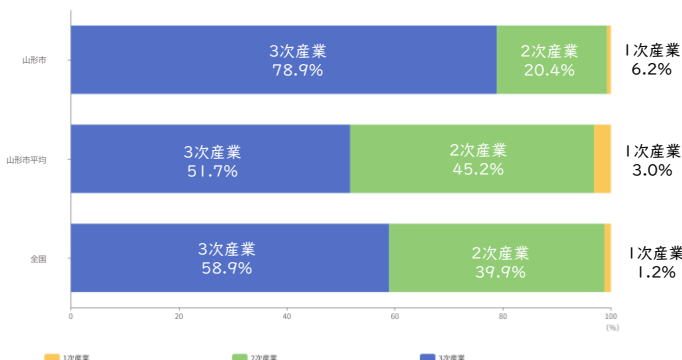
従業者数(事業所単位): 121,393人



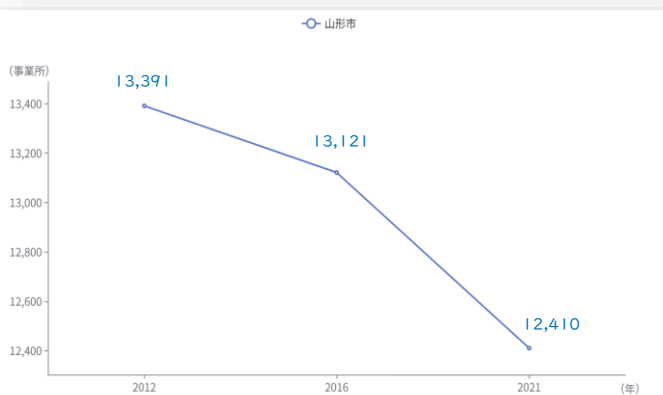
*産業構造マップ→産業構造分析→産業構成(従業員数)

従業者数 (2021年)

業種ごとの従業者数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の27,264人で、全体22.5%を占めている。その後「医療、福祉」の18,907人の15.6%、「製造業」の12,566人の10.4%が続く。



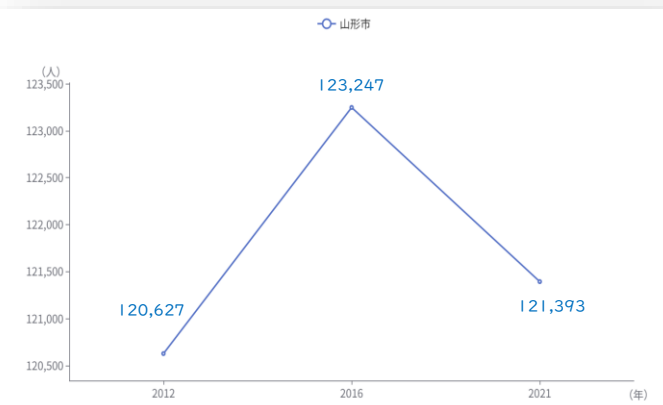
*地域経済循環マップ→生産分析→地域産業の構造



*産業構造マップ→産業構造分析→推移(事業所数)

事業所数の推移 (2021年)

事業所数の推移をみる。2021年は12,410事業所であり、5年前の2016年は13,121事業所だったので、比較すると5.4%減少している。



*産業構造マップ→産業構造分析→推移(従業員数)

従業者数の推移 (2021年)

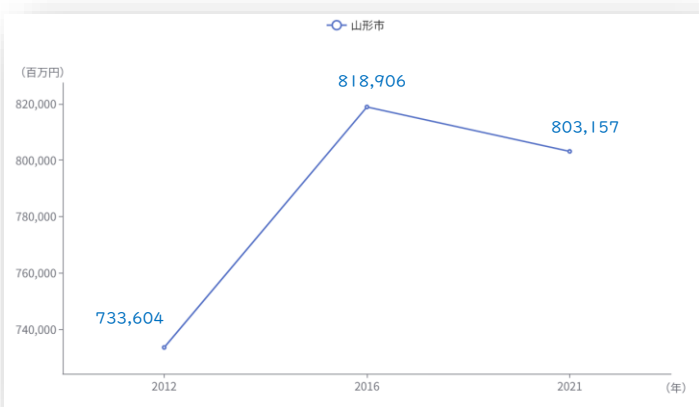
従業者数の推移をみる。2021年は121,393人、5年前の2016年は123,247人だったので、比較すると1.5%減少している。

地域内産業の構成割合 (2018年)

山形市の生産額を指標に産業の構成割合を全国および山形県と比較したグラフである。2次産業の割合が45.6%であり、全国の39.9%と比べて高い。一方、3次産業の割合は、48.2%と全国の58.9%に比べて低い。

*1次産業・・・農業、林業、漁業など
 *2次産業・・・製造業、建設業、工業など
 *3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業



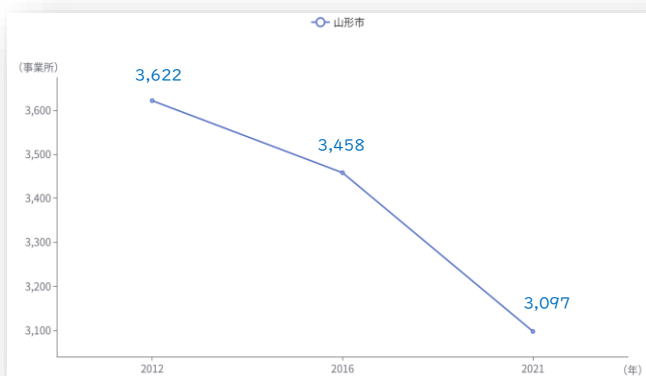
*産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の売上高の推移を示したグラフである。
2021年の売上高は803,157百万円である。9年前の2012年と比較すると733,604百万円なので、9.5%増である。

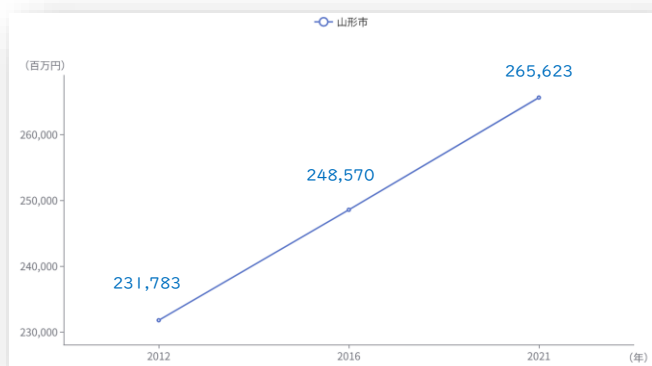
事業所数(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。
2021年の事業所数は3,097事業所、2012年は3,622事業所であり、2012年と比較すると、14.5%減となっている。



*産業構造マップ→産業構造→推移

製造業



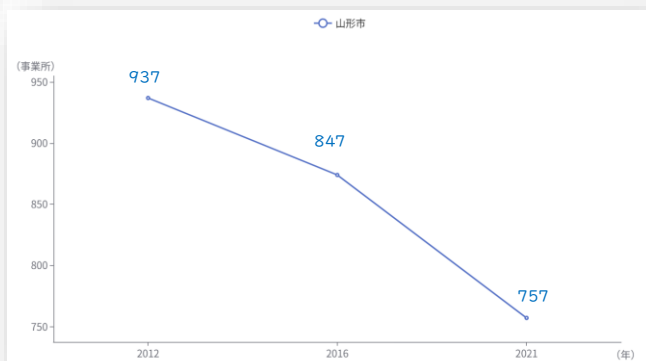
*産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(製造業)の推移 (2021年)

製造業の売上高の推移を示したグラフである。
2021年の売上高は、265,623百万円である。
9年前の2012年と比較すると231,783百万円なので、14.6%増である。

事業所数(製造業)の推移 (2021年)

製造業の事業所数の推移を示したグラフである。
2021年の事業所数は937事業所、2012年は757事業所であり、2012年と比較すると、19.2%増となっている。

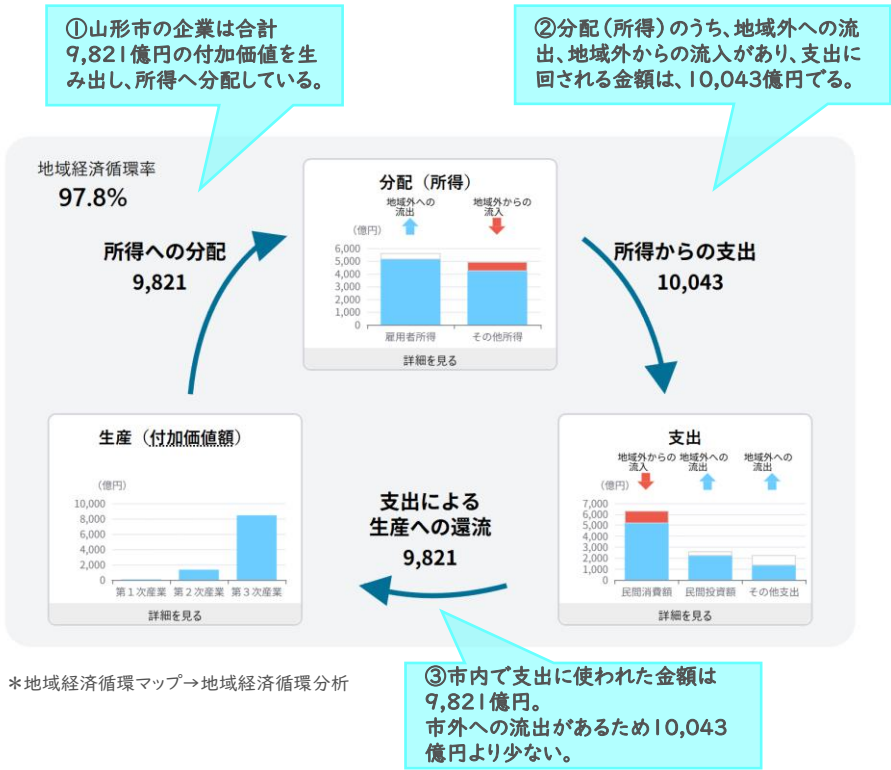


*産業構造マップ→産業構造→推移

地域経済循環

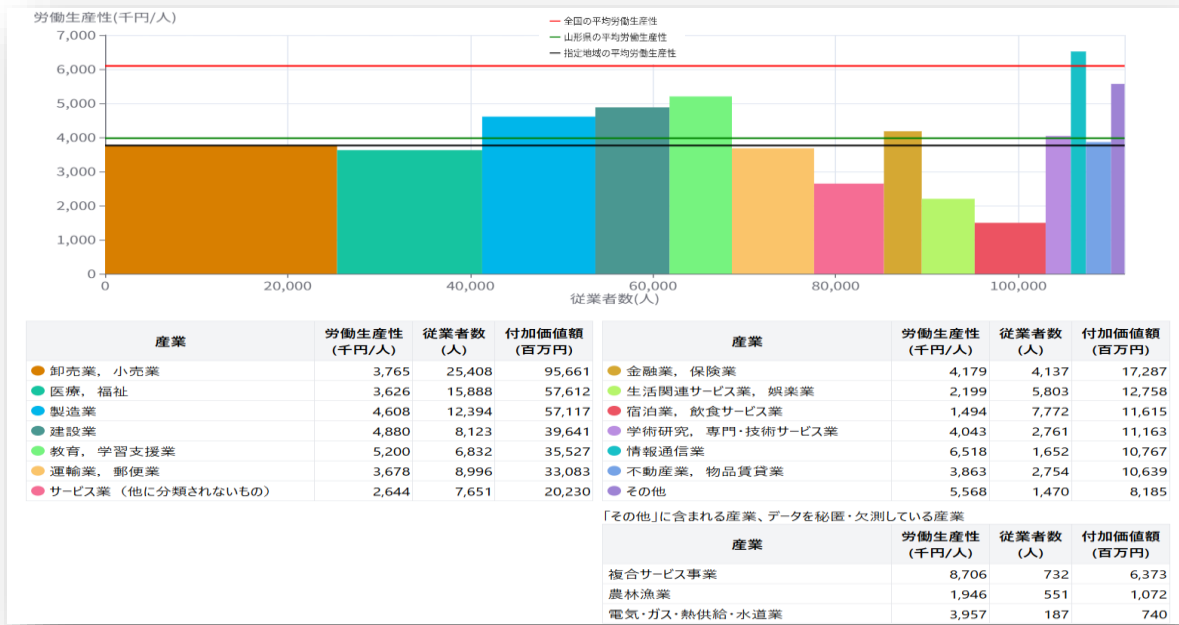
地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

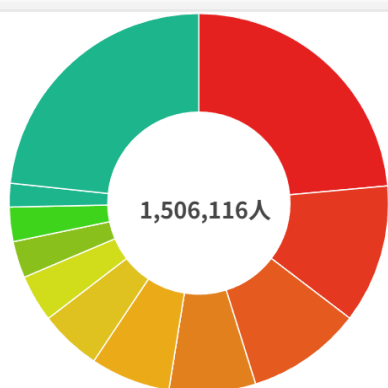


付加価値額の構造分析 (付加価値額順/2021年)

X軸に従業者数、Y軸に労働生産性で表される付加価値額(面積)のチャートである。付加価値額の要因が、労働生産性と従業者数のどちらの影響によるものなのかを把握する。山形市では、「卸売業、小売業」の付加価値額がもっとも大きく、「医療、福祉」、「製造業」の順に続く。



*地域産業マップ→産業構造分析→付加価値額の構造分析



- 1位 東京都 354,623人 (23.55%)
- 2位 神奈川県 178,179人 (11.83%)
- 3位 埼玉県 147,385人 (9.79%)
- 4位 千葉県 111,045人 (7.37%)
- 5位 山形県 102,447人 (6.80%)
- 6位 宮城県 79,217人 (5.26%)
- 7位 大阪府 60,416人 (4.01%)
- 8位 茨城県 47,095人 (3.13%)
- 9位 愛知県 44,210人 (2.94%)
- 10位 北海道 30,357人 (2.02%)
- その他 351,142人 (23.31%)

居住都道府県別の延べ宿泊者数 （日本人）の構成割合（2023年）

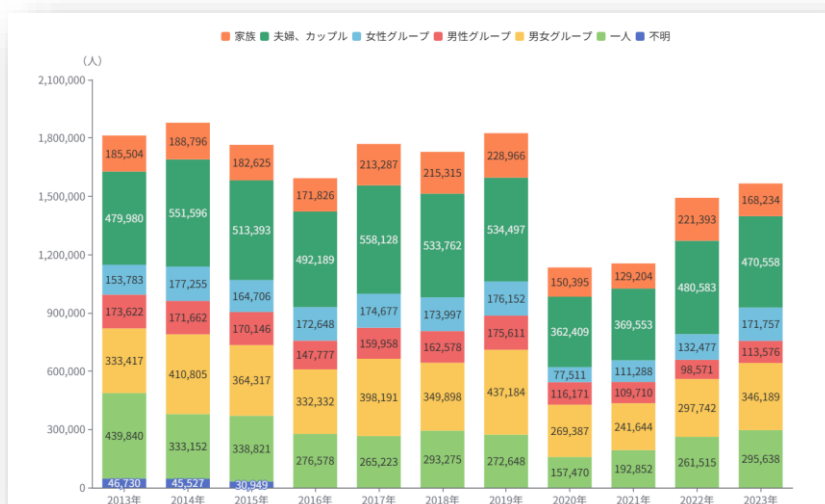
居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。東京都の23.55%と最も多く、神奈川県の11.83%、埼玉県の9.79%が続く。関東圏からの来訪者が多いことがわかる。

*観光マップ→宿泊者分析→居住別都道府県別

属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

延べ宿泊者数の推移を形態別に示したグラフである。

2023年では、もっとも多いのは、「夫婦、カップル」の470,558人、「男女グループ」の346,189人、その後、「一人」の295,638人と続く。



*観光マップ→From-to分析（宿泊者）

発行：山形工会議所

〒990-0042 山形県山形市七日町3丁目1-9

TEL: 023-622-4666 FAX: 023-622-4668

URL: <https://www.yamagata-cci.or.jp/>

